

- テスラモーターズジャパン、テスラ「モデルS」「モデルX」のメディアコントロールユニット内部のマルチメディアカードに不具合があるとしてリコール
14年10月5日～18年3月26日に輸入した2126台
耐久性の検討が使用が想定される車両の期間に対し不十分な為、書込/消込回数が限度を超え劣化し、タッチスクリーンが表示されなくなることがある。その為、デフロスタの機能にアクセスできなくなる、または方向指示器が作動しなくなる等の恐れがある。
- FCAジャパン、「グランドチェロキー」の燃料ポンプリレーに不具合があるとしてリコール 10年12月18日～13年5月30日に輸入した3228台
エンジンルーム内の燃料ポンプリレーにおいて材料選定が不適切な為、熱により発生した物質が端子に付着することがある。その為、リレー内部で接触不良が発生し、燃料ポンプが停止して、最悪の場合、走行中にエンジンが停止する恐れがある。
- フォルクスワーゲングループジャパン、「ゴルフトゥーラン」等計6車種のリヤコンビネーションランプに不具合があるとしてリコール
13年10月21日～18年11月29日に輸入した3万6973台
リヤコンビネーションランプのバルブホルダーの材質が不適切なため、バルブの熱により変形することがあり、接触不良で警告灯が点灯し、最悪の場合、制動灯及び尾灯が点灯しなくなる恐れがある。
- フォルクスワーゲングループジャパン、「アルテオン 2.0/206kW」と「パサートオールトラック TDI/140kW」の燃料ゲージに不具合があるとしてリコール
18年2月22日～19年9月21日に輸入した4387台（アルテオン3408台/パサートオールトラック979台）
燃料タンクに取り付けられている燃料ゲージ付きサクシジョンジェットポンプの製造時の組付指示が不適切なため、使用過程でポンプが傾くことがある。そのため、燃料残量が正しく検出できず実際に燃費より燃料を多く表示。最悪の場合、走行中に燃料切れによりエンストする恐れがある。
- ボルボ・カー・ジャパン、「V40」「V40クロスカントリー」のブリーダーホースに不具合があるとしてリコール
なお本件は、20年8月27日付けでリコールを届出し、同年10月2日で追加リコール。今回、対象範囲を拡大する必要があるため、再度追加でリコールを届け出た。
15年6月16日～16年10月27日に輸入した4825台
エンジンの冷却装置のエア抜き設計が不適切なため、修理等により冷却水を再充填する際に、専用特殊工具を正しく使用しない場合、冷却装置からエアが抜けなくなることがある。そのため、冷却が不十分となり、最悪の場合、エンジンルームが火災に至る恐れがある。